

理事長所信

公益社団法人山梨青年会議所
第44代理事長 米倉裕司

2016年度スローガン

「協力・共有・行動」

～全ては山梨青年会議所から～

【はじめに】

公益社団法人山梨青年会議所は、1973年12月に高い志と熱い使命感をもった先輩諸兄により、全国551番目のLOMとして誕生しました。43年に渡る、歴史と伝統を受け継ぎ更なる発展をしていかなければなりません。

長年に渡り、公益社団法人山梨青年会議所は、地域に根付いた活動をおこない、私たちが住むこの町をもっと良くするために、私たち青年が、知恵を出し合い、率先して行動してきました。

私たちの住む町は、豊かな自然と観光資源や全国有数の果物産地ですが、他の町と同様に、高齢化、人口減少、商店街の減少など、様々な問題を抱えています。現状の良い所を更に伸ばし、悪い所を少しでも改善するために、市民や行政と情報を共有しなければなりません。

地域の発展のためには、行政や他人任せではなく、公益社団法人山梨青年会議所がきっかけを作り、市民自らが主体となって考え行動し、地域を変えていく事が大切です。

多くのNPO法人や民間団体が活躍している今、青年会議所内外を問わず地域リーダーと協力し、自らも学び成長していきます。

若者らしい発想と行動力で諸問題に対して挑み、解決・貢献している団体として、市民に広く認められ、必要とされる団体となるよう、存在意義を高めていかなければなりません。

協力する事、考える事、行動する事を止めた時に成長が終わると思います。言い換えれば、3つの事を止めない限り、成長し続ける事が出来ます。

我々青年だから出来る事を、想いをぶつけ、互いに磨きあい、志を同じくする仲間と共に失敗を恐れず立ち向かいましょう。

【活動方針】

— 青少年育成委員会 —

青少年事業は、公益社団法人山梨青年会議所が誕生して以来、長年に渡り行ってきた事業です。

子供たちは地域の宝とって間違いありません。その未来ある子供たちのためにも、私たちは、未来ある子供たちへ向け、仲間との気持ちをつなぎ、助け合いながら大きな目標へ向かって努力すること、諦めないことを学ぶ機会を作ります。

青少年たちの笑顔・達成感・思い出は、様々な体験から生まれてきます。山梨市の子ども達に今までに無い経験をしていただき、一生の思い出になるような事業を行います。

— まちづくり委員会 —

まちづくりとは、「さらに住みやすいまちとする活動」ではないでしょうか。

住んでいる地域を良くしていこうとする人たちと行政が目標を共有し、共に活動しなければなりません。

まちづくりで出逢った人たちとのつながりが、人と地域をつなげ、地域を愛する人を増やし、お互い助け合えるまちを創ります。

山梨市の活性化のために活動している人たちや団体と協力し、行政と共に行動し、持続可能な新しい事業を行います。

— 会員拡大委員会 —

私たちの仲間が増えることで、青年会議所運動の発信力を高めることができ、地域を良くしようとする若者たちが増えます。

「人は人によって磨かれる」今の自分よりもっと輝くためには、人と出会い刺激し合う機会を沢山作るために、会員拡大は大切です。

つらい事、楽しい事を同じ世代の若者たちと分かち合うためにも会員一丸となって会員拡大を行い、さらに出会いやふれあいの機会を作る事業を行います。

— 山梨JC会議 —

公益社団法人山梨青年会議所として公益認定法の理解や計画書・報告書等の基礎力を向上させていきます。

— 総務室 —

LOM が円滑に運営され、室・委員会がスムーズな運営をするためには、基盤となる総務室の活動が重要となります。LOM が活動する上で必要な運営や処理、並びに各委員会のサポートを全力で行います。またホームページより我々の活動を広く発信すると共に、公益社団法人日本青年会議所の推進する運動を山梨ブロック協議会とスムーズな連携を通し積極的に参加することにより、会員の意識を高めていきます。

【結びに】

我々自身で公益社団法人山梨青年会議所の存在や価値を高め、これからも地域から必要とされる公益社団法人山梨青年会議所としてあり続けるために、精一杯頑張ります。

第44代公益社団法人山梨青年会議所理事長を務めることを大変光栄に思います。強い決意と誇りを胸に、1年間邁進していくことをお誓い申し上げます。